

Grazia

■ 私らしく、大人修業!

35歳からの「美容の常識」

見直しBOOK

佐伯チズ

「古い肌ケア」をやめた人から
キレイになります

嶋田ちあき

マイナスする勇気が「旬の顔」をつくる

100人の

「私のところに効いた本」

「大特集26ページ」

何かを変えたいと思っているあなたへ

藤原紀香37歳・
ゼロからの挑戦

「歌えない」「踊れない」からの1年間に密着!

「紀香美容」最新版 私をつくるコスメ&レシビ

「ファッション特集」

フツウの服を

「着こなし力」で輝かせる!

生方ななえ、「永遠の定番」でオードリーになる
カジュアルの天才は「ページュ、カーキ、グレー」
センスいいひとは「旬のSHOP」を知っている

「特集」

いつまで“女のゴ”でいるつもり?

40歳まで
大人先送りでもいいの?

中谷美紀、荒川静香、小池栄子、黒木メイサ、桐島かれん、江波杏子

グラツィア

February

2009

No.155

2

美・美・美 探検隊

「たまには東京以外でキレイになれるとこないかしら?」そんな欲望にかられてコージとリョーコが向かったのは、港町・神戸。とにもかくにも美味しいものに会った2人の1泊2日強行ツアー開催!

取材・文/小野綾子 イラスト/進藤やす子



美食と美食と 美食を求めて、 神戸巡回終了!

「こ、美味しいんだよ!」
「そうと差し出されたコージの手に」

新幹線の窓の外には富士山。思わず手を合わせてしまいたいような昭和生まれの二人である。さて、ちまちまとゆで卵の殻をむきながら、向かっていたのは大人のエレガンス薫る「神戸」であった。聞けば、ハーバーランドの絶景を独り占めにして、全室スイート仕様のホテルがオーブンしたという。その名も「ラ・スイート神戸」。

「あら、見たというほうがいいんじゃない?」
という、つまりは「巡回」の旅だった。
車がエントランスに滑り込むと、ベルボーイたちが総出でお出迎え。

コージの指定は最上階の通称アルマーニ・スイート。リョーコの部屋は、ペランダの広いコーナースイートにしてね。言いたいことだけを言い放つてチェックインを済ませたわけだが。すると今度は、フロントのイケメンが問いかけてきたのだ。

「ドリンクと、フレグランス、そして好みのアメニティをお選びいただけますか」

まさかのリクエスト返し。そして、アメニティリストに並んでいたのは、「ギャロルフランク」「エラバシエ」「D.F.ハウシユカ」「アロマセラピーアンシエツ」の名門4種である。

「……やるじゃん」

あくまでも「上から目線」をキープしつつ、乾杯のシャンパンに「ご機嫌だったわけである。オレ

ンジ・ベルガモットのアロマを部屋に香らせて、移動の疲れを一掃。サービスに運ばれてきたフルーツとスイーツを交互に口にしながら、何だか神戸に、甘いよ・かん。

「あ、エステ、しようかなあ」

コージがつぶやいた。ホテルにあるスパは、基本的に女性専用。けれど最上階のスイートに限っては、専用のベッドが準備してあるために、メンズでもOKなのである。

「えー。夕景を眺めようよ」

ハーバーランドの眺めは絶景。ペランダからシャンパンでトワイライトタイムを迎えたら、さぞかしステキであろうとリョーコは思う。

「じゃ、レストランに七時集合」

それぞれの醍醐味は、それぞれがチェックしあうという、これも大人の旅である。

そして、午後七時。さっぱり顔のコージとうっとり顔のリョーコが集合したのはメインダイニングである。ル・クール神戸。ライトアップされた庭を眺めながら、

「お肉、で」
という注文の音が美しいハーモニーを奏でていた。このホテルのおススメのひとつが、地元食材にこだわった料理だというのだから、神戸ビーフのブランド黒田庄和牛を食べないわけにはいかないわけなのだ。

「あ、ウマ」
「うん、僕、このお肉と卵のスープをおかわりしてもいいかも」

シャンパンに酔いしれ、「明日の朝ご飯は、和食をルームサービスで九時にね」という、あくまでも「ご飯重視」なスケジュールなどを決めつつ、神戸の夜は更けゆく――。

さて、神戸、もうひとつの目的は、コラーゲン満載で肌がプルプルになるという噂の「フカヒレのお刺身」を食することだった。

「フカヒレの、お刺身のね!」
「舌の上で溶けるらしいよ!」

目指すは、トアロードにある名店「中国酒家」。

そしてその、生美とタレでいただく「フカヒレのお刺身」は、

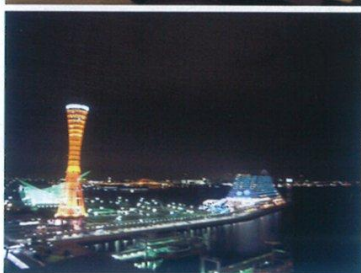
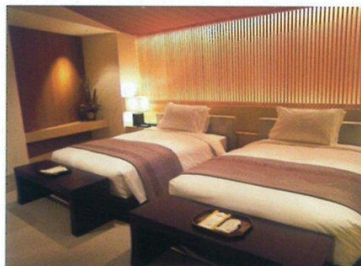
「うん、溶ける……」

なぜか、食した後に、じっと目を閉じてしまう舌の上の桃源郷。

「やっぱりさ、神戸って、いいんじゃない?」
「たまに巡回しておかないとダメだよなあ」

コージ、アルマーニ・スイートでの夜は、サービスとして提供されている映画を見まくった後に、「魔法のメルモちゃん」(昭和生まれには懐かしい名作アニメ)が放映されているのを発見し、「メルモちゃん、メルモちゃん」と、ひとりベッドの上で歌いあげていたことを告白す。

リョーコ、港に面したジャグジーバスで、この「ブランドは、開けると向こうから見えてしましますの」と言われていたにもかかわらず、「生まれたままの私で仁王立ちになっていたのは、何かの条例に違反してやしなかったのか?」そんなこんなで、神戸の巡回、終了!



すべての家具がアルマーニで統一されている。通称アルマーニ・スイートの「ル・ロウスイート」。「いま神戸で一番夜景が美しく見えるスポット」という評判通り、極上の夜景を堪能できる。ときおり聞こえる汽笛にも風情あり。



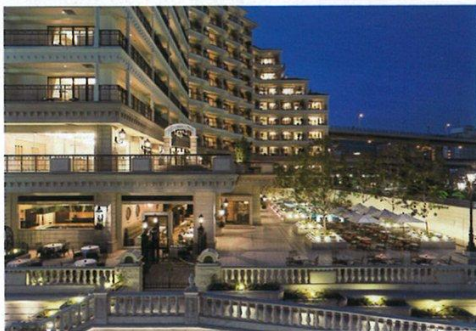
[Data]



こちらが人気のフカヒレのお刺身。とにかくコラーゲンたっぷりなのが見てわかる! コージも思わずカメラを取り出し、記念撮影をしゃうほど。ほかに伊勢エビの黒胡椒炒めなど、口福のひとときを過ごして、大満足。

中国酒家 トアロード店

☎078-391-5537
兵庫県神戸市中央区北長狭通3-12-1
12:00~14:00、16:30~21:00
フカヒレの冷菜「魚翅冷菜」(お問い合わせください) <http://chugokushuka.com>



ラ・スイート神戸

☎078-371-1111
兵庫県神戸市中央区波止場町7-2
『ル・ロフ スイート』¥161700(税・サ込み、1室料金)、通称・姫スイートの『ラ・レーヌ スイート』¥231000(税・サ込み、1室料金)、3月31日までスペシャルプランも。テラス付きのスイートルームで、エステ、朝食、ウエルカムサービスなどが付く。女性2名1室 ¥36000~。お問い合わせを。
<http://www.l-s.jp/>